

株式会社テージケー（東京都八王子市）

～高い技術力で様々な制御機器を開発～

1. 自動車用制御部品から住宅設備用制御機器まで

株式会社テージケーは、1959年（昭和34年）にLPガスの販売及び工業用設備製造を行う東邦ガス工業株式会社として設立された。そして、自動車部品製造としての同社の歴史は、1961年（昭和36年）にカーヒーター関連部品の製造、販売を開始した頃から始まる。当初は、カーヒーター用の制御弁を製造していたが、その後、カーエアコン用制御機器、燃料系制御機器など、機械系の部品から電気・電子系の部品まで自動車用制御部品全般を開発、製造、販売を行うようになった。

1986年（昭和61年）からは、これまでの技術を活かして、共通する部品の多いガス給湯器用制御部品の製造を開始するなど、住宅設備用制御機器にも事業を展開している。

2. 開発技術と特許

同社の特徴は、部品の下請け的な製造ではなく、社内で独自に開発・設計を行い提案型の活動を行っているところである。同社は、自動車関連システムメーカーなどのニーズや自動車業界の動向を把握してタイムリーな商品開発を行うことに重点を置いており、「二つの部品を一つの部品に収める」、「システムにマッチした部品を製作する」といったいわゆる「小改良」型の開発を行って、技術を蓄積してきた。

同社では、価格競争が厳しい中、付加価値の高い部品を開発して利益を確保することが重要と考え、カーエアコンを使用した時の燃費低下を小さくするシステムに対応する制御弁を開発するなど、高付加価値化の観点から開発を進めている。

付加価値を上げるという点では、特許取得も重視しており、開発した技術について毎年約50件の特許出願を行い、現在、200件近い特許権を保有している。過去には、同社が審査請求を行わなかった技術や特許請求の範囲に含めなかった技術を他社が商品化してしまうといった苦い経験もあったそうで、こうした経験も活かしながら、社内での出願内容の整理や審査請求の判断を行っている。

特許情報の活用という観点では、特許公報を通じて技術動向を調査することもある。近年、自動車業界では系列的なつながりが希薄になっているということもあり、特許公報から得られる情報は会社の開発方針を決める上でも重要なものである。

3. 活躍の場は世界へ

同社は国際出願も行っており、米国、欧州へのPCT出願を行っている。現在、米国、欧州を始め韓国、台湾、豪州にも自動車部品を供給しており、海外への特許出願はグローバルな事業展開に不可欠となっている。

4. これからの事業

同社は、技術力を活かして、さらに新しいシステムにマッチする制御部品を開発するなど、製品の高付加価値化を目指している。

●保有権利に基づく製品例



ECV（可変容量コンプレッサー制御弁）



TXV（温度式膨張弁）



注湯電磁弁

●会社概要

名称及び代表者名	株式会社テージケー 代表取締役社長 清宮 仁
本社所在地	東京都八王子市櫛田1211-4
創業	1959（昭和34）年
資本金	7,547万円
従業員数	547名
主要製品	自動車及び住宅用各種精密制御機器の開発、製造、販売
電話	042-664-1341
URL	http://www.tgk-jp.com